

報 会 うでまくり

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

「なんとかなる」「やるなら今」
という言葉に胸に…

一般社団法人 福島県女性経営者プラザ

会長 安 斎 恵美子



■ Withコロナへと社会が進む中、令和4年度前半は順調に活動が進みました。これも皆さまのおかげと感謝しております。しかし、コロナを含め私たちを取り巻く状況は落ち着く様子を見せません。

■ いま、社会は大きく変わろうとしています。その中で、通信業界も変化した業種の一つだと思います。テレワークが一般的になり、オンライン上であ

らゆることが行われるようになりました。会議や面接、ちょっとした雑談なども、今やパソコンを通して話すことが当たり前に。店舗の在り方もどんどん変化しており、接客もテレワークに変わりつつあるのです。アバターに对应される日もそう遠くないかも（笑）。正直、昭和生まれの私はこの状況に戸惑いを感じています。この先どうなるのか、と真剣に悩めば悩むほど、どうすればよいのかわからなくなる時もあります。そんなとき、思い出すのが「一休さん」の逸話です。

■ 一休さんは亡くなる前、弟子たちに「この先、どうしても困ったとき、苦しいときに開けなさい」と一通の手紙

◆ FJPの目的 ◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

を残したそうです。そして数年後、ある事情で困り果てた弟子たちが手紙を開けると、中には「心配するな、大丈夫、なんとかなる」と書かれていたのでした。八方塞がり、万策尽きた、と気持ちが悪くなった時、一休さんのこの逸話を思い出すと、何故か励まされ気が蘇ってきます。そして何よりも、FJPの一員であるからこそ皆様と悩みを共有・共感し、「大変なのは私だけではない」と気持ちを整え、全力で踏ん張ることが出てきます。

「なんとかなる！」…と。

■ 8月定例会では、株式会社クリフ代表取締役 石山純恵さんのお話を聞くことができました。石山さんは、成功の秘訣として「インターネットを活用した情報収集と人との出会いを大切にしている」とおっしゃっておりました。それなら、FJPはまさしくそれぞれが成長できる出会いが生まれる場。これからのFJPの事業活動もリアルとオンラインの良いとこ取りの

● うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

「ハイブリッド例会」で楽しく学び、自分自身を磨いていきましょう。

■ ちなみに、パワフルでエネルギーシユな石山さんの大好きな言葉は「やるなら今しかねえ」（長渕剛の「西新宿の親父の唄」だそうです。

「なんとかなる」と「やるなら今」は違う言葉ですが、何となく本質は似ているような気がしますね。



4月定例会

2022年4月6日(火)
郡山ビューホテルアネックス 舟津

※会員に聞く※

◆宮坂佳代子会員(株)レントオール福島
◆樽川千香子会員(アルファ電子(株))

進行…安斎恵美子会長

今回は宮坂佳代子会員と樽川千香子会員にお話を伺いました。司会を務めた安斎会長は「お二人の内なるパワーの力強さを感じた。目標に向けて挑戦し続け、ますます発展していったほしい」とエールを送りました。

Q…会社を継ぐと決めた経緯は？

樽川…東日本大震災の後、新潟県に母子避難し、2014年に福島県に戻った後、大病を患い手術と離婚を経て、15年8月に父が経営するアルファ電子に入社。当時の社内状況を見て愕然とし、会社再建のために新規事業の必要性を感じた。今は食品事業部を創設し、米粉麺の自社工場を建設予定。跡取り



樽川千香子会員

娘だからこそ分かる部分も多く、会社に入る際に自分の人生会社に

捧げることを決意した。

宮坂…44歳まで専業主婦だったが、一念発起して先代社長と一緒に会社を立ち上げた。



宮坂佳代子会員

設立18年目でようやく経営も安定してきていると思っています

た矢先、先代社長の急死に伴い代表になった。当時は社員同士の対立で退職が増えたり、水害やコロナ禍で苦境続きだったが、多くのお客様に支えられて今までやってこられた。

Q…会社はどんなビジョンで経営されているのですか？

樽川…守るべきことは守り、変えるべきことは変える。現状維持で満足するのではなく電子部品製造と食品部門の両輪でもっとも強くになりたい。倫理法人会や盛和塾などでも学び、人が成長できるような会社を目指したい。

宮坂…社員が13人いるが、社員が自ら考え行動を起こす組織にしていきたい。私の役目は社員を見守り、必要な時に手を差し伸べることだと思っている。

Q…お二人とも大病を乗り越えて頑張っている。その原動力は？

宮坂…両足に人工関節が入っていて障がい者手帳も持っている。私は仕事がい

好きで、人も好き。周りの人たちに支えてもらっていることへの感謝が私の原動力だと思う。



進行役の安斎会長



左から横山副会長、宮坂会員、樽川会員、澤上副会長、瀬戸副会長

新入会員を募集しています



入会したい人
入会させたい
人がいたら…

推薦者は、①パンフレット、②うでまくり、③入会申込書などを本人に渡します。

①②③は交流・広報委員会にあります。



入会申込書の提出は
交流・広報委員長に



理事会で承認



入会！

オリエンテーション

■問い合わせ先

☎ 080-2671-8966

http://fjp-net.com

第27回 定時総会

5月10日、福島市の「茶寮おりおり」で第27回定時総会を開催し、2022年度事業計画および収支予算、役員改選など3議案を原案通りに可決しました。役員改選では安斎恵美子会長（二本松市、有限会社未来テレトピア）を再任しました。

また、記念講演会も実施し、福島民報社代表取締役社長 芳見弘一氏より『「再発見」プラス「ちよつと文章術」』と題してご講演いただきました。

会場には故三田公美子相談役の写真や愛用していたカバンも飾られ、参加者全員で三田さんの功績をたたえて黙とう、さらなる福島県女性経営者プラザの発展を誓いました。

◇第1号議案 2021年度事業報告

並びに収支決算報告承認の件

◇第2号議案 2022年度事業計画

案並びに収支予算案承認の件

◇第3号議案

役員改選の件



●第2部 記念講演会

再発見 ちよつと文章術

講師…福島民報社
代表取締役社長

芳見弘一氏



福島県には光と影がある。光の部分は、福島ロボットテストフィールドや水素エネルギーなど

どの国家戦略でもあるイノベーションコンソーシアム構想。中核施設となる国際研究機構が誘致できれば第一のつくばになると期待している。一方で影の部分は、3万人超の人々が県外に避難している

現状、除染土壌の中間貯蔵施設の移転問題、廃炉作業で出るデブリの最終処分場はまだ決まっていない。処理水の問題も福島県沖に流すことになり、農業、観光、進学、移住にも大きく影響が出る

るだろう。沖縄の基地問題も同じだが、国策に地方が翻弄されている。我々も報道機関としてあきらめずに県民の思いを国に伝えていきたい。

風評問題を解決するために必要なのは「物語」だと考える。県内には自慢すべきものがたくさんある。いつも手に

していたり、身近すぎると、その魅力に気づけない。福島県は「はじまりの地」とも言われている。あまり控え目にならず、もつとふるさとのことを知ってアクションを起こしていかなければいけない。

◆文章術について。

新聞の文章量は、原稿用紙600枚分くらい。それほどのボリュームの文章を20分くらいで大体の内容が把握できるのは、見出しがあるから。見出しは記事のおおまかな内容を20文字以内でまとめたもの。ニュースのバリエーションによって大きさが変わる。トップ記事は5段以上の見出し。社会面などによくある1段見出しはベタ見出しと呼ぶ。

新聞記者が取材して記事を書き、整理部の記者がその記事に見出しを付ける。見出しの付け方も文章術。最初に見出しを決めておくと、話がブレずに分かりやすい文章になる。

子供たちの国語力と新聞購読は比例しているが、社会人になっても若い人たちは新聞の読み方を知らない人が多い。福島民報社が実施している新聞出前講座は、新入社員向け、若手社員向けにも無料で実施しているので、興味があればお声がけいただきたい。

福島県の復興のためには企業の力が

何よりも重要。多くの人に素晴らしい取り組みをしている企業を知ってもらうために毎年「ふくしま産業賞」を実施している。受賞をきっかけに認知度が高まって社員のモチベーションが上がることもつながる。これから



故三田前相談役の遺影も…



▲芳見社長の講演に耳を傾ける会員

▶記念講演会后、安斎会長から芳見社長に寄付金を渡しました。福島ユニセフ基金を通してウクライナ支援基金に贈られました。



6月定例会(講演会)――

2022年6月8日(水)

場所…郡山ビューホテルアネックス「舟津」

地域マネジメントでコロナ禍に打ち勝つ ～打開策の秘訣と実践ノウハウ～

講師 地域産業おこしの会

副理事長 吉田 雅彦氏

■コロナにどう立ち向かったか

宮崎のリゾートホテルANAホリデーインリゾートホテルの事例を紹介したい。コロナ禍という危機でも経営ノウハウがしつかりしており、まずやったことは、キャッシュが出ていかないように、できることは内製化し、客の受け入れ数を縮小させた。また、借入を増やし、好立地を生かして結婚式の客を増やした。従業員教育にも力を入れ、最悪の状況を乗り越えた。

コロナ禍は、大学生にも影響を及ぼしている。今の大学3年生は入学したときから課外活動、サークル、アルバイト、旅行ができない。就職活動も、エンターテインメント業界、航空業界の採用がないため、夢をあきらめる学生も多い。コロナ禍でも業績好調なのはIT業界で、文系の学生もIT企業に入社する人が増えた。

今後重要なのは、経営者がデジタル情報技術はどう活用していくか。働き手一人一人がDXリテラシーを身につけることで、DXをジブングトとしてとらえ、変革に向けて行動できるようにしてほしい。

■経営スキルの普及

これまでの経営学が大きく変わった。ポストンコンサルティングがやってきた統計処理を使ったコンサルティング、MBAの時代はもう終わった。経営スキルのコモディティ化が進み、だれでもどこでも学べる時代となり、コンサルティングでお金が取れない時代になった。

■地域は「花束」、経営者は地域の盛り上げ役

雇われる人だけでは社会は成り立たない。雇う人＝経営者は尊い存在。地域は花束。地元には会社、行政、NPO、町内会などいろいろな組織がある。一つ



▲講師の吉田雅彦氏

▲熱心にメモを取る会員

ひとつを花だと考えたと、同じ花がまとまるだけでなく、多様な花があるから美しい花束になる。逆に花一本一本に魅力がないと全体の花束もきれいにならぬ。花束の中からしおれる花も出てくる。全体の色のバランスも見なければいけない。

地域も活性化するだけでなく利益を出すためのマネジメントが重要。地域全体が花束となっているか、ぜひ周りを見渡してみしてほしい。

の慢
福自
東堂山満福寺と
昭和羅漢像 (福島県小野町)

満福寺に続く参道は大きな杉並木があります。息をきらしながら登った杉並木は福島県の緑の文化財に指定されています。満福寺は807年に高僧徳大師よつて開山され家畜繁盛・守護のご利益があるとして信仰されてきました。観音堂の脇に羅漢像が鎮座しています。羅漢像は約600体にもなります。とてもユニークな表情をしていて中には永六輔・中村八大・坂本九の「六八九羅漢」も奉安されています。小野町は小さい町ですが、リカちゃんキャッスルだけではなくありません。是非一度羅漢様に会いに来て下さい。



▲東堂山満福寺 鐘楼
写真提供：
小野町産業振興課

7月定例会(オンライン)

2022年7月5日(火)
スタジオ…三部会計事務所

※会員に聞く※その2

◆瀬戸孝子会員(東北環境センター(有))

◆長尾千代美会員(株アンプラン)

進行…安斎恵美子会長

7月例会は、6月末のタブちゃん勉強会を受けて、Zoomを活用したオンライン開催でした。波瀾万丈の人生を力強く生きてきたお二人に、安斎会長も思わず涙ぐむ場面も…。会員からは、今こそ泊まりの忘年会で対面して学びを深めたいとの声も上がりました。

●瀬戸孝子会員——



郡山生まれ。

離婚後のアルバイト中に、これからはゴミの時代と、女性社長

として担ぎ出される。皆が離れる中、一人でトラックを運転し起業。事業が順調に動き出した7年目に会社は乗っ取られ社長職を追われる。最高裁での裁判も経験。2つ目の会社をまた一人

で立ち上げ、今では、ゴミ屋敷の整理、孤独死宅の後片付け等も含め、ゴミに関することはなんでもやる！ 前の7年を含め34年間、現場に出る社長として活動し続けている。今後、会社はM&Aを予定。

●長尾千代美会員——



淡路島生まれ。

人前に出るのが苦手だったが、25歳で着物の営業を始めたの

が転機で性格も変わる。34年前にご主人の起業で郡山に。鍵関係の仕事自らも現場で。54歳で離婚。多額の連帯保証人になるも逃げない姿勢で、交渉しつつ完済。55歳で起業。ご縁のあった会社で取引が始まり、以来、相談を受けたことは絶対に断らない！ をモットーに15年。今後10年は、楽しく現役を続けたい。社長は、来年息子さんに引き継ぐ。

FJPには、中央から人を呼ぶなどして学びながら、小さくまとまらず、福島県を活性化させて欲しい。

新会員ご紹介

株式会社 中郷屋
取締役専務 菊池夏帆さん
(事業委員会)

今年4月より入会致しました。株式会社中郷屋は1890年(明治23年)より郡山の地で茶業を営んでいます。うすい百貨店の地下一階に店舗があり、本社は桑野にあります。うすい百貨店がまだ第一、第二とあった時代には、現在のTrendyの位置に中郷屋はありました。私で5代目となりますが、現在は4代目が多角化した道路舗装事業も営んでいます。茶事業では、先代から培われてきた独自

世界一ロマンチックな鉄道

福島県会津若松駅から山間部を通って新潟県浦佐駅へと至るJR只見線は大自然と山郷の魅力がいっぱい。ハイライトは何といってもアーチ橋の第一只見川橋梁。この区間は列車も速度を落として運行します。豪雪地帯で有名な路線ですが、春夏秋冬それぞれ違った風景が楽しめるので、写真家にとっても魅力のポイントです。2011年7月の新潟・福島豪雨で橋が流失して11年間不通になっていましたが、今年10月ようやく全線復活となりました。これをきっかけに、多くの観光客が只見線の魅力を発信してくれることを期待しています。



の製茶法、ブレンド技術を継承し、時代のニーズに耳を傾けオリジナリティのある商品開発に注力しています。先代たちが生き抜いてきた時代とは違い、今は「女性」であるということは、オリジナリティを追究することに対して一つのアドバンテージであると考えています。中郷屋の5代目跡取り娘として、日本の伝統文化である「茶」の魅力を最大限に皆様へお伝えすることを自身の使命として頑張つてまいります。

この世の中を取り巻く厳しい現状のなかで、数多の波を越えてきたであろう女性の経営者の先輩方にご教授頂ける場へ迎え入れて頂けたことに感謝致します。人としても、経営者としても未熟な私ですが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

8月定例会(講演会)——2022年6月8日(水) 場所…茶寮おりおり

女性活躍の実情とこれから

～女性経営者として輝くために～



講師 株式会社クリフ
代表取締役 石山 純恵氏



■日本企業における女性社長の割合は8・1%。そのうち上場企業は1・1%である。福島県における女性社長の比率は7・2%だが同族継承が多く、個人事業主も多い。OECD(経済協力開発機構)によると、男女格差が解消すれば今後20年で日本のGDPは20%近く増加すると予測される。

■子供の頃なりたかった仕事はサラリーマン。海外旅行をきっかけに海外で仕事をしたいと思い本気で英会話を勉強

した。その甲斐あって海外で就職することが出来、海外と日本を行き来する様になり輸入業を始めた。その後、輸入業とともに学習塾・外国語スクール等の事業を展開してきた。40代になって就職活動をしたがなかなか思うようにいかず、それなら自分で起業してしまおうと思い、2008年に現在の会社を設立。社名のCRF(クリフ)は、コミュニケーション・復活・再生・心の垣根・ふくしまという意味を込めて決めた。機会を探して何処へでも行く。

■名刺交換をしたら24時間以内に返信するのをポリシーとして



返信が来た時には、相手にとって必要なのは何か、自分に何ができるかを考えて提案を重ねていった。そのような中で東日本大震災が起き、それが自分にとって一つの転機となったのは確か。現在は、多言語翻訳から事務サポート・通訳・研修・教育・講演と多岐にわたる事業を展開している。

●講師プロフィール

2008年に多言語翻訳、研修企画実施を事業主体とする(株)クリフを設立。シングルマザーとして2児の子育てをしながら、女性起業家として新事業に取り組み、全国商工会議所女性起業家大賞最優秀賞を受賞。震災・原発事故後は子育て支援事業を展開し、国際機関会議の翻訳や議事録作成、福島県産品の安全・安心PR事業を全国的に展開した。また、銀行や医療機関での女性活躍プロジェクトを推進。福島市町村(被災地)への移住定住事業を展開。今年、第6回国際女性会議「WAW!2022有識者会合委員」に選出される。

いる。しかし、それに返信が来るのは100通に1通あるかないか。それでも、その繰り返しを自分のタスクとし、

女性活躍の助けに



福島民友新聞

■子育ての中でも自分に出来る事・出来ない事を分けて行うようにした。仕事も同様に自分に出来る事とやれる事を考えて進めてきた。その中でもコミュニケーションと情報収集は大事。コミュニケーションは相手からどう見られているか・自分が一番言いたいことは、何故そう言えるか・どんな結果を出したいのかを考えるながら行動をする。配慮はいるが遠慮は要らない。情報収集は不要なもの捨て、自分の事として考え活かす事が必要である。「やるなら今しかねえ」をモットーに進んできた。そして、仕事は楽しく。

■女性はたくましくしなやかに、経営者は勇気の火種をばらまく人が多ければ多いほど良い。そして勇気の火種を受け取る。女性活躍とは、元気で生きがいを持って生活していることが基本

だと思う。その中から起・企業家を増やしていく事が必要である。

9月移動例会

2022年9月14日(水)
場所…川俣町



藤原町長と一緒に記念撮影

■9月の移動例会は、川俣町を訪問しました。川俣町はかつて絹織物で栄えた町です。NHK朝の連続ドラマ「エール」では、日本を代表する作曲家古関裕而が青春時代を過ごした場所として紹介されています。

■まずは川俣町役場を表敬訪問。藤原一二町長に町の現状と課題を伺いました。震災後、町の人口が凡そ4000人に減少し、いかにして移住・定住を計っていくかが大きな課題となっているとのこと。現在は3つの柱（子育て支援・働く場所の確保・住居）を掲げて町として取り組んでいるそうです。

「地域おこし協力隊」に若い人を採用し、観光農園・農業・伝統産業とさまざまな取組を進めています。いくつもの課題が山積している中、注目しなければならぬのが、11年前の東日本大震災後に起きた東京電力福島第一原発の事故で町が分断（避難区域と非避難区域）されてしまったこと…。今後、広域的・先進的に取り組んでいく必要があるのではないかとこのお話がありました。

■次に訪問したのは「川俣町ポリエステル媒地活用推進組合」です。事務局長の安田秀吉さんからアンスリウムの栽培に至るまでの経過についてお話を伺いました。初めは野菜類の栽培という考えもあったが、原発事故の影響を考え川俣町の寒暖差が激しいこの地の利を生かして、花卉栽培になったといえます。なぜ川俣町で熱帯アメリカ産のアンスリウムを栽培しようと思ったのか：新たな挑戦の陰には近畿大学の協力のもと実施したポリエステル媒地の活用がありました。ポリエステル媒地とは、リサイクルした古着を土として利用する方法で、肥料のコントロールも楽なうえに土壌汚染もない新しい栽培方法、いわゆる先進技術を利用したICT農業のことをいいます。アン

スリウムの栽培は全国的にも少なく輸入に頼っているのが現状で、町を挙げたのチャレンジだったという安田さん。出荷は主に東京の中央卸売市場大田市場に出しているが、コロナ禍で購買力が上がったこともあって、出荷量はだんとつの日本一である。種類も48種から60種と豊富です。



アンスリウムについて説明をする安田さん

▼ピンクのアンスリウムの花言葉は「飾らない美しさ」赤は「情熱」



▼昼食は、シルクピア2階にある「蕎麦六」の川俣シャモせいろ



道の駅 シルクピア

■参加した会員は15名。昼食は川俣シャモのせいろ蕎麦に舌鼓を打ち、道の駅シルクピアでお土産を買い、帰りにはアンスリウムの花のプレゼントを貰って大満足の一日でした。コロナ禍の中、快く応対を下さった藤原町長並びに安田事務局長に深く感謝申し上げます。

各委員会
活動報告

◆総務委員会

総務委員長 菊池 美保子



新体制になつて最初の総務委員会を5月31日(火)に、総務の織井会員の

お店「フレンジー」で9名の出席で行いました。

総務の役割は定例会の案内、議事録や資料の作成、支払と会計など様々な作業があることを確認し、それぞれの役割分担を決定しました。

前委員長の古川顧問から「毎月担当する司会や議事録などはみんなで分担しましょう」とのご意見をいただき、総務委員全員が担当できるように毎月の分担表を作成しました。委員会の皆さまのご協力をお願いいたします。

会員の皆さまへのお願いです。理事会と定例会の案内は毎月20日前後、出欠の確認は開催日の2週間前までに取りまとめを行っていますが、なかなかお返

◆事業委員会

事業委員長 会田 和子



今年度新たに郡山の菊池夏帆さんが加わり、事業担当の佐藤和江さん、紺野涼さ

んの2名の監事を含む14人で事業委員会を推進しています。7月27日澤上副会長のお店で第1回会合を開催。急な呼びかけに7人が参集。狙いは9月定例会内容を確定することでした。7月23日に長尾副委員長と私で川俣町に出かけ、周辺状況や交通状況を確認し、安田事務局長にも現場で歓談して内容

事をいただくことができず毎月大変苦勞しております。早めにお返事をいただけると助かります。よろしくお願いいたします。



▲川俣町下見を颯爽とナビしてくれた長尾副委員長

◆交流・広報委員会

交流・広報委員長 長 沢 美起子



今年度は6月13日に委員会を行い、役割分担と今後の会員拡大のためのうでまくりの活用について、プレスリリース等

についての会合を開きました。

8月に樽川会員の工場を見学し、委員会を実施する予定でしたが、コロナウイルス感染症の増加により立消えとなりました。

例会も順調に進んでうでまくりの内容は充実したものとなりました。

会員拡大は進んでいる状況ではないので会員の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

FLOURISH
Soyoka

ご紹介

かつて私が音楽に助けられたように、このCDに込められた楽曲たちもどこかで誰かの力になればいいな…それが私の一番の願いです。ゆっ

たりと呼吸を整えてみなぎる力とともに希望をもって、明日に向かって… Soyoka



FLOURISH soyoka
¥2,500 (消費税込)
ご注文は紺野監事まで

編集後記

6月定例会・実践女子大学の吉田先生のご講演の中に「地域は花束」という言葉がありました。川俣町のICT農業による新しい取り組みを知り、まさにその通りなのかな…と思いました。

川俣町に限らず、福島県においても過疎化は深刻な問題です。私達の郷土を守り育てるためにも、歴史・伝統・文化等を大切にしながらその一助になる役割を担っている事を忘れてはならないのではないでしようか。色々な種を蒔いて行けるFJJPでありたいと思います。(長沢)

